

高泊小学校 様

令和6年春のコンクールで最優秀賞を受賞されたことで、令和2年春の花壇コンクール以降で通算3回の最優秀賞受賞となりました。そのため「山陽小野田市花いっぱい運動モデル花壇指定」とすることになりました。高泊小学校に「花壇を作るうえでの心掛けていること」について、以下のとおり話を聞いてきました。

■過去の最優秀賞受賞花壇



令和4年度春の花壇コンクール



令和5年度春の花壇コンクール



令和6年度春の花壇コンクール

花を育てるようになったきっかけ

花壇を綺麗に保つことで、子供たちの感性が育まれ、また自主的に花壇の手入れに取り組んでくれている。地域との関わりを大切に、学校と地域が一緒になって、活動ができるため。

年間スケジュール

春と秋の花壇コンクールの日程にあわせて、花壇づくりに取り組んでいる。春の花壇コンクールが終わった後の花の引き上げや土づくりには保護者や地域の方の協力をいただきながら行っている。

苦労していること

草取り（特に夏場）がとても苦労している。暑さ対策として藁を敷いたり、水やりの回数なども気を付けている。花が枯れた時には虫対策等、専門家の方にアドバイスをもらっている。

工夫していること

花壇のレイアウトは子供たちの意見を聞いたりして工夫している。高泊のモチーフがデザインできるように取り組んでいる。

管理・手入れ

日々の草取りが一番大変だが、環境委員をはじめ多くの子どもたちが自主的に空いている時間に草取りをしてくれるので、とても有難い。苗を植えて花が咲いた時に、全部手摘みをして、土に栄養がいくようにしている。

デザイン・配置

今回は高泊の「T」の文字を作った。花の高さを考えてレイアウトしている。

これから花を育てる方に対して一言

花の手入れをしている子供たちはとても楽しそうで、土に触れたり、自然に触れたり、実際に活動してみるとリフレッシュになっていると感じる。子供たちも花壇の手入れをすることで花壇に愛着がわいている。

やりがいを感じる時は

子どもたちが花壇綺麗だよねと話していたり、高泊小の自慢で花壇の言葉が出たとき。花壇コンクールで良い結果をもたらったとき。